

第四節 昭和二十四年

① 学事抜粋

昭和二十四年

二月 法隆寺写真展（陳列館）開催。

五月十四日 校内居住生徒は赤羽寄宿舎へ引越す。

同月三十一日 東京芸術大学設置される。

六月一日 国立大学設置法により本校は東京芸術大学東京美術学

校と改称。

十月四日 東京芸術大学開学式挙行。

同月 ルネ・グルッセ来校。

十一月 梧竹展（陳列館）開催。

十二月一日 戦後第三回（東京芸術大学第一回）芸術祭開幕。

同月 戸張孤雁作品展（陳列館）開催。

② 職員その他（主に「辞令簿」による。）

昭和二十四年

三月三十一日 講師石沢正男は依頼解嘱となる。

四月六日 上野直昭は文部事務官兼文部教官に任命され、国立博

物館長兼東京美術学校長に補せられる。

同月三十日 教授脇本十九郎は文部技官に任命され、国立博物館

次長に補せられる。

五月二十五日 藤田亮策は文部教官に任命され、本校教授に補せられる。

同月三十一日 上野直昭は東京芸術大学長事務取扱を命ぜられ、

町田稲尾は同大学事務局長に任命される。

六月一日 伊藤廉、奥村土牛、兼子秀賢、寺内万治郎、後藤年彦、村田泥牛、羽石光志、中村登一、高田正二郎、川合清、田中芳郎、鈴木信一は本校講師兼東京芸術大学講師に補せられる。

同日 教務補佐員毛塚真一、渡辺洋、若林作司は文部事務官に任命され東京芸術大学勤務を命ぜられる。

同月十八日 上野直昭は東京芸術大学東京音楽学校長小宮豊隆辞任につき、同校長事務取扱兼任を命ぜられる。

同月三十日 藤田亮策は東京芸術大学教授に補せられる。小塚新一郎は文部教官に任命され、本校教授兼東京芸術大学教授（哲学および倫理学担任）に補せられる。

同日 石田英一、海野清、平柳田中、小林古径、安田鞞彦、安井曾太郎、梅原龍三郎、小場恒吉、松田権六、石井鶴三、広川松五郎、岡田捷五郎、西田正秋、内藤春治、吉田五十八、丸山不忘、吉川逸治、新規矩男、西本順は東京芸術大学教授兼任を命ぜられる。

同日 山本丘人、田中青坪、裕伊之助、菅原安男、久保守、吉村順三、寺田春弼、笹村草家人、山脇洋二、小池岩太郎、入谷昇、品田慎一、六角頼雄、前田泰次は東京芸術大学助教兼任を命ぜられる。